

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 **【新】第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）出品支援事業費**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 飛騨牛銘柄推進室 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111(内2878)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,129 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,129	0	0	0	0	0	0	0	9,129
決定額	9,129	0	0	0	0	0	0	0	9,129

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

和牛のオリンピックともいわれ、5年に1度行われる全国和牛能力共進会（以下、「全共」という）が、令和4年10月に鹿児島県で開催予定であり、現在、出品牛（県代表）の選定が進められている。

生産者団体、JA、市町村、県等の飛騨牛関係団体それぞれに役割があり、県は、第12回全共出品対策委員会の構成員として出品牛（県代表）の飼養・衛生管理指導、飛騨牛生産者全体の全共に向けた機運醸成や県民の全共への認知度向上を図るため、広報活動を行うことになっている。

また、全共出品に向けた各種活動（県最終選考会の開催、輸送費）について、助成を行う。

(2) 事業内容

① 最終審査現地指導

- ・ 本大会最終審査における飼養管理指導及び防疫対策の実施
- ・ 最終審査において、大会事務局と県出品者との連絡調整用務

② 飛騨牛改良推進事業の検証

- ・ 県がこれまで行ってきた種雄牛並びに繁殖雌牛の改良の成果の検証
- ・ 他県和牛の改良状況の確認及び今後の飛騨牛改良方針の検討

③ 全共に向けた広報

- ・ 出品者応援等の横断幕・懸垂幕の製作・掲示

④ 第12回全国和牛能力共進会出品対策委員会の活動助成

- ・ 県最終選考会・枝肉研究会の開催、出品牛輸送経費、広報費に対する補助

(3) 県負担・補助率の考え方

上記(2)①～③ 県10/10 (肉用牛振興のための事業であり、県負担は妥当)

上記(2)④ 県1/2 (生産振興・ブランド力向上の取組みであるため、県負担は妥当)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,873	大会現地指導旅費
委託料	1,230	出品者応援等の横断幕等作成経費
補助金	6,026	県最終選考会、枝肉研究会開催経費、輸送費、輸送保険費、広報費
合計	9,129	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

全国和牛能力共進会鹿児島大会(R4)に向けた和牛日本一(最優秀枝肉賞)奪還戦略

(2) 国・他県の状況

出品を予定する各道県は、支援を実施している。

(3) 後年度の財政負担

次回令和9年度予定(5年に1回の開催)

(4) 事業主体及びその妥当性

○上記2 事業内容の(2)①～③ 事業主体：県

飛騨牛関係団体がそれぞれに役割を担っており、県は第12回全共出品対策委員会の構成員として、出品牛(県代表)の飼養・衛生管理指導等を現地で行うこととなっている。また、県民の全共への認知度向上対策は、県が実施する。

○上記2 事業内容の(2)④ 事業主体：(一社)岐阜県畜産協会

第12回全国和牛能力共進会岐阜県出品対策委員会を運営する団体であるため。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）出品支援事業費補助金
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県畜産協会 （理由） 第12回全国和牛能力共進会岐阜県出品対策委員会を運営する団体であるため。
補助事業の概要	（目的） 第12回全国和牛能力共進会への出品に対する支援 （内容） 県最終選考会・枝肉研究会の開催経費等への助成
補助率・補助単価等	定額 （内容） 県最終選考会・枝肉研究会の開催、出品牛輸送経費、広報費に対する補助 （理由） 畜産協会は収入基盤が脆弱であるため、県畜産施策上必要な事業について、必要な範囲内で補助が必要。
補助効果	農家技術のレベル向上、第12回全国和牛能力共進会における成績向上
終期の設定	終期 令和4年度 （理由） 第12回全国和牛能力共進会が開催される令和4年度単年に必要な経費

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 令和4年に開催される第12回全国和牛能力共進会で優秀な成績を上げ、飛騨牛を全国にPRする。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 R2年度末	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					R4年度末	達成率
①飛騨牛認定頭数の増加	9,727	9,727	9,900	10,050	10,050	97%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	—	—	—

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 5年に一度の大会への出品および出品までの取り組みにあたり、出品者に対する経費的支援、人的支援が必要。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

大会現地において、出品牛の現地指導（爪・毛の手入れ、洗浄、調教等最終調整、給餌指導など）を行い、万全の体制で大会にのぞむ。また、各種広報活動により、飛騨牛生産者全体の全共に向けた機運醸成、県民の全共に対する認知度向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

5年に一度開催される全共に向けた出品経費であり指標の設定にそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>国内外を問わず、飛騨牛のブランド価値を高めていく上で、その品質を裏付ける実績が不可欠である。 和牛のオリンピックといわれる5年に一度の全共において、良い成績を収めるため、県内飛騨牛関係者が一丸となって取り組んできたものであり、現地指導においても万全を期する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	<p>公益社団法人全国和牛登録協会岐阜県支部や全農岐阜県本部、農協、生産者団体や県市町村など、県内飛騨牛関係者全体で全共出品に向け、取り組む体制が構築されている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 全共出品牛の現地における指導を万全にし、大会にのぞむ必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	